

私立大学研究ブランディング事業 成果報告会

ブランディング推進室長 増田 翼

2018年度に採択されました文部科学省私立大学研究ブランディング事業「保育者育成のためのキャリア・ルーブリックの開発～シームレスな高校・短大・保育現場の繋がりを目指して～」につきまして、2022年2月に成果報告会を開催しました。ここでは、これまでの事業全体の活動について報告するとともに、完成した「キャリア・ルーブリック」およびその試行結果の公表を行いました。当日の案内文および開催日程などは以下の通りです。

福井県のような人口減少社会においては、一人でも多くの保育職志望者を確保するとともに保育職従事者の定着を図ることが重要となってきました。しかし、現状として中高生に保育の魅力、保育職の魅力がどこまで伝わっているでしょうか。また、保育者養成校の学生ならびに現場保育者は、自らのキャリアパスをどの程度見通すことができているでしょうか。これらの課題を一体的に捉え取り組んできた本事業の成果をもとに、今後の保育者養成校に求められること、さらには高校—保育者養成校—保育現場という三者間における連携・協働の在り方について考えてみたいと思います。

●開催日程：2022年2月26日（土）13:00～15:30

開会挨拶

〔第1部〕研究実施部会成果報告

〔第2部〕ブランディング戦略部会成果報告

質疑応答 / 閉会挨拶

●オンラインライブ配信（Zoomウェビナー）参加費無料（要申込）

当日の報告会（Zoomウェビナー）には、保育者養成校教職員の方々をはじめとして、福井県内保育現場の先生方、高校の先生方、保育行政関係者の方々など学外から54名の参加申込をいただきました。学内関係者も含めるとたいへん多くの方々に本事業の詳細を周知することができ、有意義な会となりました。また、報告会の最後に20分ほどの「質疑応答」の時間を用意したところ、様々な視点からご意見ご質問を頂戴することができました。さらに、閉会後も多くの参加者の方からアンケート回答をいただくことができました。

本事業の一つの目標であった「キャリア・ルーブリック」については、次のページ（図1・図2）に掲載するようなかたちで一応の完成に至りましたが、実際に本学の学生に対して試行した結果などを踏まえて、今後も改良改善を続けていきたいと思えます。なお、今回の成果報告会の内容ならびに2021年度の活動実績等の詳細については、『最終報告書（2021年度）』としてWeb公開していますので、そちらをぜひご覧ください（<https://www.jin-ai.ac.jp/branding/>）。



研究ブランディング事業
特設ページ

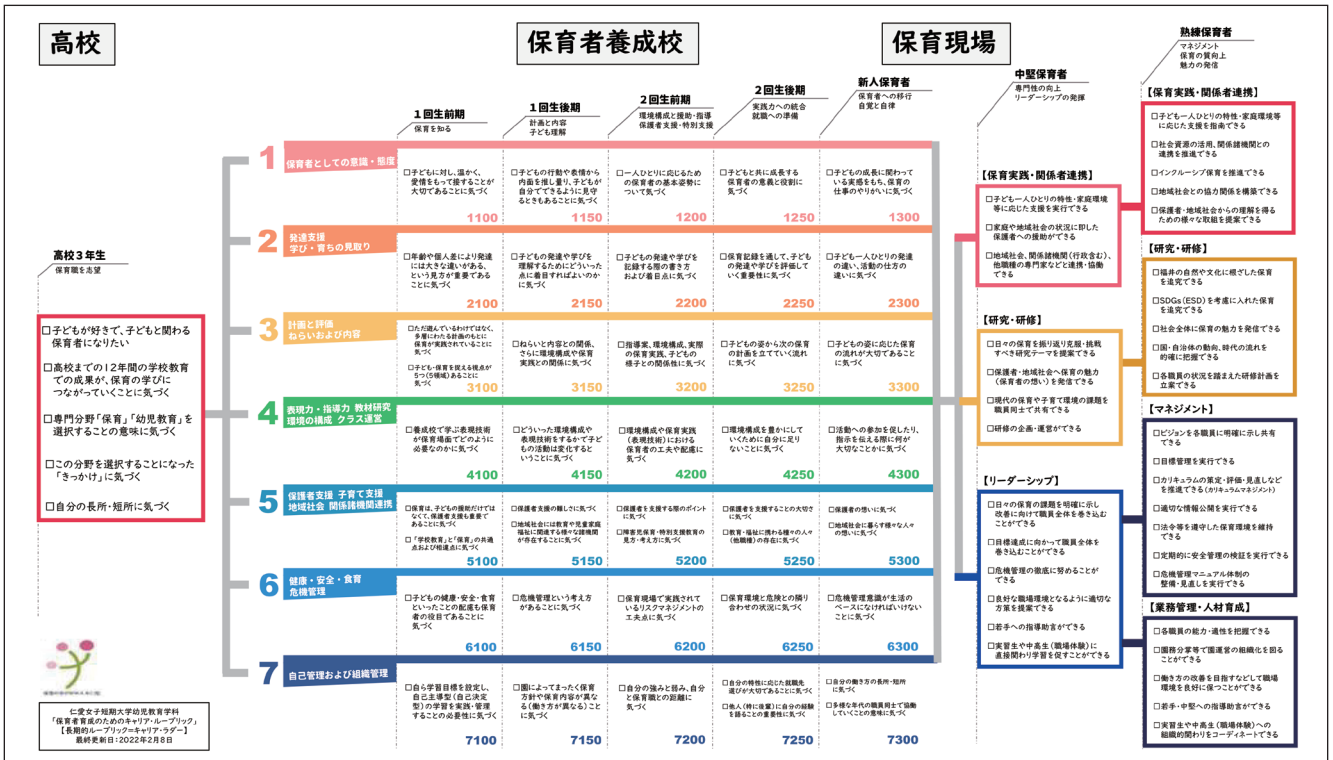


図1 長期的ルーブリック (キャリア・ラダー)



図2 短期的ルーブリック (一部分のみ)

ブランディング事業